

「わが村は美しくー北海道」運動コンクール

過去の応募団体のご紹介(釧路・根室地域)

第2回コンクール

【地域特産品部門】 標津町地域HACCP推進委員会

標津の豊かな海から獲れる秋サケやホタテ等の水産食糧資源を「安心・安全で高品質」な状態で食卓へ届けるため、生産者から市場・加工場・運送業まで地域一体となって従事者の健康管理、環境調査、衛生教育(人材育成)、生産・製造管理の記録等を実施し、日本初の「水産食品安全管理システム」地域HACCPを実践しています。

またこれらの証として製造された製品には、認定査察後に「地域ハサップシール」を貼付する取り組みも実施しています。



【人の交流部門】 根室市・室根村 スポーツ親善交流をすすめる会

根室市と室根村(岩手県)の逆さ地名が縁で、1通の手紙を契機にスポーツ(マラソン)を通して交流が始まり、その後両市村の特産品での物産交流を通じながら地域の相互交流として発展してきました。

特産品の交流の中で、室根村の地鶏と根室市の昆布を使用した「根室昆布丼」が誕生し、両市村で好評を得るなど、背伸びをしない草の根的活動で、人と人との心のふれあいや大切さを理念として交流活動が行われています。



【人の交流部門】 標津町エコツーリズム交流推進協議会

標津町の豊かな自然環境や農業・漁業などを活用し、地域HACCPでの水産現場の見学、加工体験、河川でのサーモンフィッシング体験や、山菜ツアーなど

地域のあるがままの自然、産業活動を体験してもらうため、町の各産業、団体等により協議会を組織し、地域一体となって都市住民との交流を行っています。さらに「町民ガイド」制度を作り、漁業、加工、フィッシング、山菜採り等の体験学習の場において、実際の業務に関わる町民をガイドとして育成し、現地での対応を行っています。



【人の交流部門】 酪農家集団 AB-MOBIT

農村と牧場の持つすばらしい自然環境を生かし、こうした安らぎの空間を都市住民との共通財産として楽しむため、根室市厚床周辺の5つの牧場や景勝地をつ

なぐフットパス(散策路)の整備を行っています。フットパスの整備にあたっては、体験型ワークショップ等を開催し、企画段階から地域と都市住民がともに参画した活動を行っています。

また、そば作りなどの体験学習、酪農体験、ソフトクリームの販売など、幅広い交流の場の形成を図り、農業農村に対する理解を深めています。



【人の交流部門】 浜中牧場祭実行委員会

地域の酪農家の親睦と連携を高め、祭り(見る、食べる、体験する)を通じて酪農への理解と発展を図るという目的で、今年で26回目となる牧場祭の計画立案と運営を行っています。

祭りのイベントについては、牛の丸焼きやロール転がしゲームなど、実行委員会のアイデアをこらした内容となっており、また、地域の漁業者、乳業メーカーなど、他の団体にも参加してもらうなど地域一体となったお祭りとなっています。



【人の交流部門】 釧路西部地区 ジュニアホルスタインクラブ

音別町、白糖町の2町の酪農家の子供たちを中心に「酪農を楽しく学ぶ集い」として後継者育成も兼ねて発足し、ホルスタイン共進会への参加やジュニア酪農教室の実施、牛乳の消費・流通調査を行っています。

牛乳の消費・流通調査は自分たちの家で生産する生乳が、「なぜ自分たちの町で販売していないのか?」という素朴な疑問から、自分の家(牧場)から消費地(関東)まで牛乳の流れを調査しています。

